

NEWS RELEASE



2013年6月12日
日本新薬株式会社
広報部

各位

日本新薬で創製した胃炎・胃潰瘍治療剤「ガスロンN[®]・OD 2mg錠」が、本日、導出先の韓国、泰俊（テ・ジュン）製薬から発売されました。

日本新薬株式会社（本社：京都市、社長：前川重信）は、2011年11月に導出した胃炎・胃潰瘍治療剤「ガスロンN[®]・OD 2mg錠」について、導出先の株式会社泰俊製薬（テ・ジュン製薬、本社：ソウル特別市、会長：李 泰栄）が、本日、韓国で同剤を発売しましたのでお知らせいたします。

「ガスロンN[®]・OD錠」は、当社が創製した胃炎・胃潰瘍治療剤「ガスロンN[®]錠」の口腔内崩壊錠で、国内では、2007年7月から同剤の剤形追加品として販売しています。細胞間コミュニケーション活性化作用、胃粘膜血流改善作用および抗炎症作用により、優れた胃粘膜障害抑制効果を発揮する防御因子増強剤であり、1日1～2回投与が可能な薬剤です。

また、口腔内崩壊錠は、服用した際に唾液や少量の水によって口腔内で崩壊するため、水分摂取を制限されている患者さんや、嚥下機能が低下している患者さん等にとって、服用しやすい剤形となっています。

泰俊製薬は、2008年1月より韓国で「ガスロンN[®]錠」を販売し、順調に売上を伸ばしていますが、当社は、このたびの口腔内崩壊錠の剤形追加により、今後韓国市場におけるガスロンN[®]ブランド製品の売上が更に拡大することを期待しています。

【参考】

会社名： 株式会社泰俊製薬（Taejoon Pharm. Co., Ltd.）
設立： 1978年4月
本社所在地： ソウル特別市 龍山区 韓南洞 657-87
代表理事会長： 李 泰栄
業務内容： 医療用医薬品の製造販売
従業員数： 357名（2012年度）
売上高： 1,070億韓国ウォン（約96億円）（2012年度）

以上